

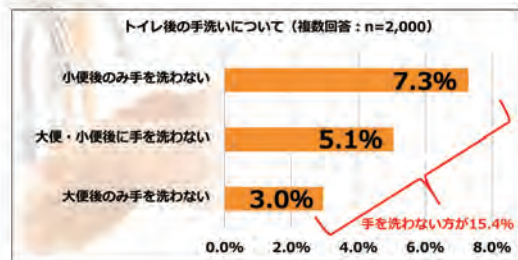
Toilet Topics



トイレ後に手を洗わない人の割合は？

2015年に消費者庁が全国の男女2,000人を対象に行った調査によると、トイレの後に手を洗わない人がなんと15.4%にも上がりました。「トイレの後は手を洗う」と幼い頃から教えられてきましたが、そもそもなぜトイレの後は手を洗わなくてはならないのでしょうか？それはトイレの後の手洗いには自分や他の人をウィルスから守る重要な役割があるためです。

冬場に流行することの多いノロウィルスなどのウィルス性胃腸炎の場合、菌は人の小腸で増殖して大便と一緒に排泄されます。自分が感染しているのに手を洗わなかった場合、ウィルスのついた手でドアノブや手すり、つり革などに触ることでウィルスを撒き散らしてしまいます。自分が感染していなくても、ウィルスが付着した場所を触った手で鼻をこすったり、口に触れたりすることでウィルスは体の中に入って感染してしまうのです。トイレはウィルス感染のリスクが高い場所なのです。トイレに入った後、外から帰った時、食べ物を食べる前には必ず石鹸で手を洗いましょう！



正しい手の洗い方はこちら。

政府広報オンライン「マメに正しい手の洗い方」



手洗いには…、アメニティのオートソープディスペンサー

手をかざすだけで泡状の石鹸が途出。



電源不要！
取り付け工事不要！

コンパクト設計

▼薬用ハンドソープは清潔なパウチ入り



専用希釈容器で管理も楽々▶



motto!グッドトイレ

～グッドトイレ選奨2016から～

毎年日本トイレ協会主催で、優れたトイレ建築や文化活動に贈られる「グッドトイレ選奨」。選奨に選ばれた作品や活動を通してもっとトイレのことを知ってもらえるコーナーです。

NEXT DOOR Project

～ケニアの女子児童に生理用品を届けよう～

LIXIL NEXT DOOR Project事務局

途上国では、児童だけでなく親の世代から正しい生理教育が行われておらず、生理に関する正しい知識と清潔な生理用品が無いことにより学校に行けなくなったり、病気に感染したりする女子児童が多くいます。株式会社LIXILでは2014年1月から、社員の自発的な活動として途上国の女子児童の生理問題を日本国内のLIXIL従業員に知ってもらうためのイベントを開催、そこで集めた資金でケニアの現地NPOであるHuru Internationalから生理用品を購入

し、生理用品と生理教育をセットにして提供しています。2016年9月時点で、ケニアの女子児童215人に生理用品と教育の提供を行いました。こうした取り組みがきっかけとなり、女子児童が女性であることに誇りを持ち、将来の夢を語れるようになりました。まだまだ現地では4万人の女子児童がこのサポートを必要としています。グッドトイレ選奨の受賞をきっかけに、活動は広がっています。今後も地道に継続していくということです。



◀布ナプキン、ショーツ、石鹸、生理に関する冊子などが入ったガールズバッグ



生理教育を受けるケニアの児童たち

編集後記

今回の特集はLGBTとトイレに関するものでしたが、今までなじみのなかったテーマで難しさを感じながらの取材になりました。今や多目的トイレには当たり前のようにあるオストメイト用流しやそれを表すピクトサインも、20年余り前、最初に設置されたころには賛否両論があったとか。昨今登場しているジェンダーフリーのトイレも20年後には当たり前になってるのかもしれないね。(セルベッチオ中嶋)

information!

サトミツ&ザ・トイレッツのメジャーデビューアルバム発売！
どきどきキャンプの佐藤満春さんが立ち上げた世界で唯一のトイレバンド、「サトミツ&ザ・トイレッツ」のメジャーデビューアルバム「ホワイト・アルバム」がリリースされました！



サトミツ&ザ・トイレッツ
「ホワイト・アルバム」
2017年11月10日発売
BVCL-841 / 2,593円(税別)



特集



どちらのトイレに入る？
誰でもトイレ？

トイレの管理者・メンテナンスワーカーのためのLGBT基礎知識

最近、『LGBTに配慮したトイレ』という言葉がニュースなどで見聞きするようになりましたが、「LGBTって…？」という方も多いのではないのでしょうか。まずは正しく知ろう！ということで、職場や店舗など、一定の公共性を持っているトイレを管理されている方やメンテナンスワーカーのためのLGBTについての基礎知識をまとめてみました。

用語解説

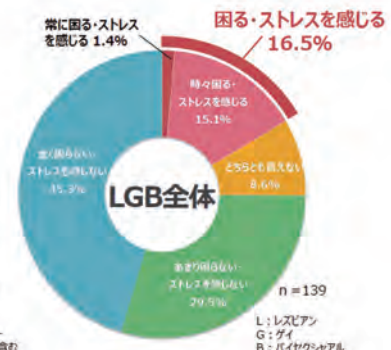
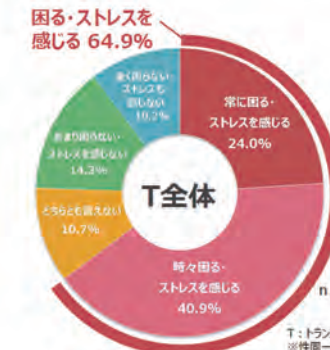
「性的マイノリティ」とは「性のあり方」が多くの人に比べて少数派の人たちのことを指します。同性を好きになる人（レズビアン・ゲイ）、同性も異性も好きになる人（バイセクシャル）、出生時に割りあてられた性別とは別の性で生きる／生きたいと望む人（トランスジェンダー）など、性的嗜好や性自認には様々なあり方があり、レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシャル（B）、トランスジェンダー（T）の頭文字をとって「LGBT」と称されることが多いです。また、自己の外見や服装などをどう表現するかという「性表現」も女性的／男性的／どちらでもない／など様々です。

「性同一性障害」という用語もありますが、「性同一性障害」と「トランスジェンダー」は必ずしも同じ意味ではありません。「性同一性障害」とは、心の性別（性自認）と身体的性別、社会的性別を一致させたいと強く望む状態で、医学的なサポートを必要とする場合に病院で付けられる診断名です。

LGBTの方はどのくらいいる？

2015年の電通ダイバーシティラボの調査では、日本人の7.6%はLGBTに該当するという結果が出ていま

Q. 職場や学校のトイレ利用で困る・ストレスを感じることはありますか？



す。これは、日本人の13人に1人はLGBTということです。「でも私の周りにはいないなあ」という方がほとんどだと思います。しかし、日本人の苗字の上位6位までの鈴木さん、佐藤さん、高橋さん、田中さん、伊藤さん、渡辺さんを全て足しても7%くらいです。LGBTはごくごく少数の知らない誰かの話ではなく、実は身近にいる存在だということがわかってもらえるのではないのでしょうか。

トイレの困りごと

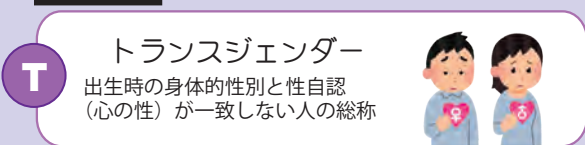
特定非営利活動法人虹色ダイバーシティと株式会社LIXILが共同で行った「性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査」を見てみましょう。「職場や学校のトイレ利用で困る・ストレスを感じることはありますか？」という問いに対して、LGBの16.5%が

「困る・ストレスを感じる」と回答しているのに対し、T（トランスジェンダー）は64.9%もの方が「困る・ストレスを感じる」と回答しています。「LGBT」とひとくくりに語られがちですが、トイレに関して困りごとを抱えているのは圧倒的にトランスジェンダー（T）が多いことがわかります。トランスジェンダーの困りごとを詳しく見てみると、「他の利用者から不審な目で見られた」「他の利用者から注意された」という声があがっています。また、そうしたトラブルを回避すべく男女どちらかのトイレではなく多目的トイレを使うことに関しても「障がい者や高齢者、子連れの方の邪魔をしているようで不安」と考えている人も多く、「清掃の人に注意された」という事例もあります。2ページに続く→

性的指向に関するマイノリティ



性自認に関するマイノリティ



トランスジェンダーの方も様々

また、一言で「トランスジェンダー」と言っても様々です。トランスジェンダーの心の性と見た目の性の一致度を「パス度」という言葉で表しますが、例えば、生まれは男性で心は女性という場合、見た目も女性らしい(パス度が高い)方もいれば、男性のままの(パス度が低い)方もいます。ホルモン治療などを受けていてよりパス度が高い方もいます。また、同じ個人の中でも始めから心の性がはっきりとしているわけではなく、成長や時間の経過に伴って性自認も男性から女性へ、女性から男性へとだ

んだんと移行していくという場合もあります。そういった様々な状況の中で、使いたいトイレ(女性／男性／多目的)やトイレの悩みも様々です。

健康の問題も

トランスジェンダーの方は学校や職場などの知り合いがいる場所のトイレでは、周囲に知られたくないという思いからトイレに入れずに我慢する傾向があります。特に10代では顕著で、22.7%の方がトイレを我慢すると回答しています。トランスジェンダーの方の4人に1人が便秘や膀胱炎などの排泄障害を経験しているということからも、トイレ利用のストレスや、日常的

にトイレを我慢してしまうことが健康上の問題まで引き起こしてしまっていると考えられます。

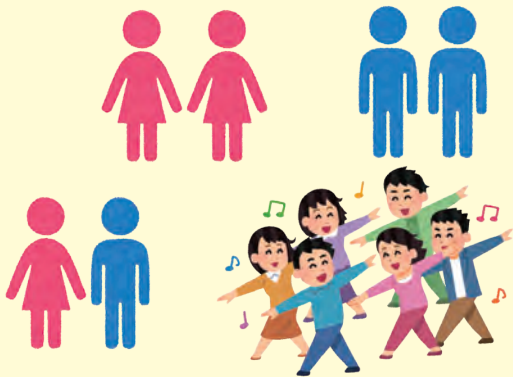
すべてのジェンダーの方に配慮したトイレとは

「すべてのジェンダーの方たちが使いやすいトイレとはどのようなトイレなのか」。トイレのメーカーや関連の団体なども日々研究していますが、まだ試行錯誤の段階です。また、ジェンダーに配慮したトイレのピクトサインに関しても賛否両論が巻き起こっています。NPO法人虹色ダイバーシティの五十嵐ゆりさんはLGBTの方のトイレ利用に関する課題の解決策について、まずは「男女兼用、



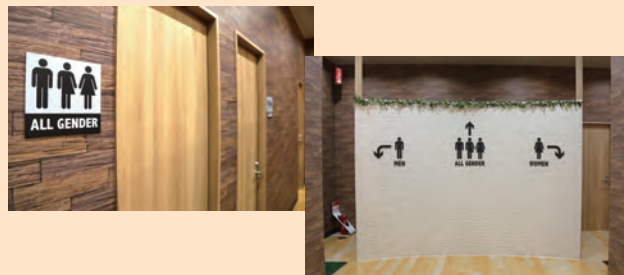
誰でもトイレ、広めトイレ、などトイレの選択肢を増やすこと」や「表示を工夫すること」を挙げています。また、こういった議論が進められていることに対して「当事者からは歓迎されている」とし、トイレ管理者やメンテナンスワーカーに求められることとして「まずは適切な情報を知ってもらいたい」と語ってくれました。

すべてのジェンダーの方に配慮したトイレの事例



☆MEGAドン・キホーテ渋谷本店

渋谷区に今年5月にオープンした総合ティスカウントストアのMEGAドン・キホーテ渋谷本店では、性自認の如何にかかわらず、誰でも利用できるトイレを設置しています。



☆渋谷区区役所トイレ

日本で初めて同性のパートナーシップ条例を制定したことで注目された渋谷区では、区庁舎の誰でもトイレのピクトサインにレインボーカラーの人を配し、全てのジェンダーが使用できるトイレを表しています。



☆どんな性別でも使えるトイレマーク

香川県を拠点にした非営利団体PROUDでは、「どんな性別でも使えるトイレマーク」を公募し優秀作品2点を公開しています。トイレの設置者や管理者がHP上から自由にダウンロードして、「誰でもトイレ」「多目的トイレ」などに使えるようになっています。

<http://proud-kagawa.org/toilet-mark-dl/>



出典：性的マイノリティのトイレに関するWEB調査結果
虹色ダイバーシティ／株式会社LIXIL
http://newsrelease.lixil.co.jp/user_images/2016/pdf/nr0408_01_01.pdf



住まいと暮らしのことなら何でもそろう総合センター 株式会社島忠 様

● 創立：昭和35年 ● 住所：埼玉県さいたま市西区三橋5-1555 ● TEL：048-623-7711 ● URL：http://www.shimachu.co.jp/

お客様訪問

No.43

株式会社島忠様は「シマホ」の愛称でもおなじみ、家具とホームセンターの複合店舗「島忠・HOME'S」を、関東・関西を中心に59店舗展開されています。今回は総務部で施設管理部門の課長をされている高橋伸夫様にお話を伺いました。

■島忠様の特徴を教えてくださいませんか？

私ども島忠・HOME'Sでは、1階にはホームセンター、2階には家具・インテリアという売り場構成で、豊かな住まいと暮らしを提供し、地域の皆様に喜んでいただける店舗を目指しています。特に家具部門ではカリモク家具さんのソファや、飛騨産業さんの天然木の家具などこだわり抜いた商品をご提供しています。また、最近では衣料品や飲食店などの専門店も併設したモール形態の店舗も増やし、お客様によりお買い物を楽しんでいただける店舗づくりを目指しています。

■来店されるお客様に対して、気をつけている点はどのようなことでしょうか？

弊社では商品や価格の魅力はもちろんですが、それよりも接客する「人」が重要だと考えています。丁寧親切な対応や、



▲施設管理チームの皆様。左から阿部様、石井様、高橋様、栗原様。

売り場の社員のチーム力を高める努力をしています。一方で、施設担当者の立場から申し上げると、「安心安全に買い物ができる」というのが第一です。気持ちよく買い物を楽しんでいただくために、エレベーター、自動ドアなどに不具合はないか、売り場は清潔か、照明、音響、室温は適切か、駐車場などの外部の安全配慮など、細部まで気を配っています。

■アメニティのサービスを導入されたきっかけはどのようなことだったのでしょうか？

平成9年ごろから各店舗の店長の判断で導入するようになりました。かれこれ20年になりますね。すぐに店長の間でも評判になり、2、3年の間に当時のほとんどの店舗がアメニティのリピーメンテナンスサービスを導入したと記憶しています。



▲小便器は尿石防止剤ピビダリアで予防管理。



▲洋式大便器にはシートクリーナーJrを設置。

☆ 私が担当しています! ☆



SHOP

CSアメニティ

渡邊 翔平 (わたなべしょうへい) さん

埼玉県越谷市

トイレ診断士 ID: 11-0216-0375

島忠様にはいつもお世話になり、20年もの長い間ご愛顧いただきありがとうございます。島忠様のトイレはいつも清潔感のあふれる雰囲気です。「きれいなトイレをお客様をお迎えする」という心遣いが伝わってきます。店舗にいらっしゃるお客様が増えるにつれ、「便器にものを落としてしまった」などの突発的な詰まりも発生します。“故障中”でお客様の不便がないように、1分でも早く解決できるよう全力を尽くしています。現在も不具合などはメールでご連絡差し上げていますが、高橋様のご提案もあり、全店舗の状況を共有する報告会を定期的に開催する運びとなりました。今後とも連携を深めながら店舗のトイレをより快適に保っていききたいと思えます。宜しくお願いいたします。



▲こだわりの商品が並ぶ家具売り場